

## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 ベイシス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4068 URL https://www.basis-corp.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 公孝  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 今井 未来也 TEL 03(6435)9907  
定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 -  
有価証券報告書提出予定日 2024年9月30日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年6月期の連結業績（2023年7月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	6,822	-	79	-	76	-	13	-
2023年6月期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2024年6月期 13百万円（-％） 2023年6月期 -百万円（-％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	7.07	6.99	0.7	1.9	1.2
2023年6月期	-	-	-	-	-

（参考）持分法投資損益 2024年6月期 -百万円 2023年6月期 -百万円

（注）2024年6月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年6月期の対前期増減率並びに2023年6月期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。

また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	3,935	1,966	50.0	1,057.63
2023年6月期	-	-	-	-

（参考）自己資本 2024年6月期 1,966百万円 2023年6月期 -百万円

## （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	38	△317	187	970
2023年6月期	-	-	-	-

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年6月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,701	28.3	△37	-	△45	-	△66	-	△35.71
通期	7,920	16.1	103	30.1	93	22.6	51	294.6	27.92

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）株式会社アヴァンセ・アジル、除外 -社 （社名）-

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示あり

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	1,862,411株	2023年6月期	1,856,870株
2024年6月期	2,740株	2023年6月期	40株
2024年6月期	1,861,676株	2023年6月期	1,855,104株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績（2023年7月1日～2024年6月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	6,289	△8.4	105	△72.5	106	△70.8	48	△82.6
2023年6月期	6,863	△9.6	382	△21.9	363	△25.1	280	△13.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	26.14	25.84
2023年6月期	151.02	148.77

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	3,832	2,002	52.2	1,076.73
2023年6月期	3,554	1,954	55.0	1,052.84

（参考）自己資本 2024年6月期 2,002百万円 2023年6月期 1,954百万円

2. 2025年6月期の個別業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,184	110.4	△48	-	△64	-	△34.50
通期	6,841	108.8	81	76.5	53	109.5	28.65

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

当連結会計年度は連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っていません。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなど各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調となりました。その一方で、中東地域をめぐる情勢等を背景とした資源価格の高騰、物価の上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社の事業領域であるモバイルエンジニアリング分野においては、通信キャリア各社が足元の設備投資を抑制するとともに、今後もコスト抑制要請は進むことが予想されます。

一方で通信事業者以外では、IoTエンジニアリングサービスで展開しているスマートメーター設置サービスにて生活インフラ業界におけるスマートメーター設置が進み、引き続き堅調に推移しております。また、IoT機器設置だけでなく、顧客先にエンジニアが常駐し、監視・保守を行うストック案件も順調に増加しております。2023年9月より一般提供を開始したSaaS「BLAS（プラス）」の販売や、機器の初期設定などを行うキッティング業務などのサービスの拡充が進み、新規取引顧客も順調に増加しております。

そのため、当期は「BPaaSモデルと親和性の高いIoTエンジニアリングサービスの推進を通じてBPaaSモデルの基盤を作る期」と位置付け、IoTエンジニアリングサービスに経営リソースをシフトさせ事業成長を進めてまいりました。BPaaS(Business Process as a Service)とは、業務プロセスを外部企業へアウトソーシングし (BPO)、クラウド上のソフトウェア (SaaS) を使って、業務効率化を実現するサービスであり、IoT機器の設置や運用保守をBPOで請けるだけでなく、SaaSであるBLASを活用しBPaaSモデルとして推進することで中長期の事業成長を目指しております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は6,822百万円、営業利益79百万円、経常利益76百万円、親会社株主に帰属する当期純利益13百万円となりました。

なお、当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、サービス別の売上内訳といたしましては、モバイルエンジニアリングサービス3,578百万円、IoTエンジニアリングサービス2,469百万円、及びその他774百万円となっております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は3,935百万円となりました。これは主に現金及び預金970百万円、売掛金1,874百万円、仕掛品302百万円、のれん214百万円及び投資その他の資産233百万円等であります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,968百万円となりました。これは主に短期借入金700百万円、買掛金386百万円、未払費用281百万円及び長期借入金（1年以内返済予定の長期借入金を含む）288百万円等であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,966百万円となりました。

この結果、自己資本比率は50.0%となり、1株当たり純資産額は1,057円63銭となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は970百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、38百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前当期純利益56百万円、減価償却費37百万円、未払費用の増加118百万円といった増加要因が、売上債権の増加12百万円および法人税等の支払額155百万円の減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、317百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4百万円、無形固定資産の取得による支出36百万円および連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出267百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、187百万円の収入となりました。これは主に長期借入れによる収入315百万円の増加要因が、自己株式の取得による支出3百万円及び長期借入金の返済による支出26百万円を上回ったことによるものであります。

（4）今後の見通し

モバイルエンジニアリングサービスにおいては、各携帯キャリアの設備投資はピークアウトし、2023年は合計1兆5,463億円と投資総額自体は微減となっています（2022年度は合計1兆7,770億円）。また、2026年には合計1兆2,100億円まで縮小することが予想されております（株式会社MCA「携帯電話基地局市場及び周辺部材市場の現状と将来予測 2023年版」）。そのため、6Gに向けた情報収集と体制維持を行ってまいります。

IoTエンジニアリングサービスにおいては、生活インフラ領域のスマートメーター設置・交換の需要が引き続き高まるだけでなく、スマートロック、AIカメラ、入退室管理システム、デジタルサイネージ等のスマート社会を支えるデバイス・ソリューションの社会実装の引き合いが増加しております。

また、機器設置だけではなく、設置後の機器の監視、保守案件も増加し、ストック案件の割合が増加しました。今後も引き続き新規顧客開拓を進めながら、既存顧客への深耕営業を行うことで事業拡大を行ってまいります。

その他サービスにおいては、2023年11月に株式会社アヴァンセ・アジルが子会社となりました。営業・マーケティング網を相互活用することにより事業拡大を行ってまいります。

このような環境の中、2023年10月に発表した中期経営計画実現に向け、2025年6月期は売上拡大及び利益率改善を重要戦略としています。売上拡大について、2024年6月期に伸長したIoTエンジニアリングサービスは、BPaaSモデルのさらなる拡大を行ってまいります。特に取引歴が浅く、取引額が少ない既存顧客は深耕ポテンシャルが大きいため積極的な営業提案を行ってまいります。また、事業シナジーが見込める企業のM&Aも積極的に行ってまいります。利益改善については、売上総利益の改善が急務となります。上昇した労務費の取引価格への転換交渉、プロジェクト採算管理の徹底、不採算プロジェクトの精査等を行い、売上総利益率の改善を行ってまいります。

翌事業年度（2025年6月期）の業績見通しにつきましては、売上高7,920百万円（前年同期比16.1%増）、経常利益93百万円（前年同期比22.6%増）、当期純利益51百万円（前年同期比294.6%増）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		970,857
売掛金		1,874,027
仕掛品		302,858
前払費用		44,109
未収還付法人税等		46,121
その他		27,581
流動資産合計		3,265,555
固定資産		
有形固定資産		
建物		122,174
減価償却累計額		△16,239
建物(純額)		105,935
工具、器具及び備品		40,256
減価償却累計額		△19,408
工具、器具及び備品(純額)		20,847
有形固定資産合計		126,783
無形固定資産		
のれん		214,153
ソフトウェア		82,677
ソフトウェア仮勘定		12,407
無形固定資産合計		309,238
投資その他の資産		
繰延税金資産		48,228
その他		185,507
破産更生債権等		220
貸倒引当金		△220
投資その他の資産合計		233,735
固定資産合計		669,756
資産合計		3,935,311

(単位：千円)

当連結会計年度 (2024年6月30日)	
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	386,697
短期借入金	700,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000
未払金	88,967
未払費用	281,381
未払法人税等	20,784
賞与引当金	125,501
預り金	26,624
その他	36,665
流動負債合計	1,711,622
固定負債	
長期借入金	243,750
退職給付に係る負債	13,087
固定負債合計	256,837
負債合計	1,968,459
純資産の部	
株主資本	
資本金	334,897
資本剰余金	285,697
利益剰余金	1,349,863
自己株式	△3,606
株主資本合計	1,966,852
純資産合計	1,966,852
負債純資産合計	3,935,311

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,822,403
売上原価	5,226,474
売上総利益	1,595,928
販売費及び一般管理費	1,516,653
営業利益	79,274
営業外収益	
受取利息	8
受取保険金	572
助成金収入	277
その他	934
営業外収益合計	1,792
営業外費用	
支払利息	4,299
貸倒引当金繰入額	220
株式交付費	90
その他	114
営業外費用合計	4,724
経常利益	76,342
特別損失	
投資有価証券評価損	19,999
特別損失合計	19,999
税金等調整前当期純利益	56,342
法人税、住民税及び事業税	38,554
法人税等調整額	4,630
法人税等合計	43,184
当期純利益	13,158
(内訳)	
親会社株主に帰属する当期純利益	13,158
非支配株主に帰属する当期純利益	—
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
包括利益	13,158
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	13,158
非支配株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	333,871	284,671	1,336,705	△302	1,954,945	1,954,945
当期変動額						
新株の発行	1,026	1,026	-	-	2,052	2,052
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	13,158	-	13,158	13,158
自己株式の取得	-	-	-	△3,304	△3,304	△3,304
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	1,026	1,026	13,158	△3,304	11,906	11,906
当期末残高	334,897	285,697	1,349,863	△3,606	1,966,852	1,966,852

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	56,342
減価償却費	37,203
のれん償却額	16,843
受取利息	△8
支払利息	4,299
投資有価証券評価損益 (△は益)	19,999
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,256
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,498
仕入債務の増減額 (△は減少)	61,069
未払費用の増減額 (△は減少)	118,277
未払金の増減額 (△は減少)	△53,921
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,081
その他の資産の増減額 (△は増加)	△17,362
その他の負債の増減額 (△は減少)	△5,453
小計	198,616
利息の受取額	7
利息の支払額	△4,331
法人税等の支払額	△155,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,956
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△4,417
無形固定資産の取得による支出	△36,943
保険積立金の積立による支出	△10,013
敷金及び保証金の差入による支出	△201
敷金及び保証金の回収による収入	2,056
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△267,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000
長期借入れによる収入	315,000
長期借入金の返済による支出	△26,250
株式の発行による収入	2,052
自己株式の取得による支出	△3,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△90,817
現金及び現金同等物の期首残高	1,061,675
現金及び現金同等物の期末残高	970,857

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は「インフラテック事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

【関連情報】

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	2,172,092	インフラテック事業
S Bエンジニアリング株式会社	707,016	インフラテック事業
東京電力パワーグリッド株式会社	694,594	インフラテック事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	インフラテック事業	合計
当期償却額	16,843	16,843
当期末残高	214,153	214,153

(のれんの金額の重要な変動)

当連結会計年度において、株式会社アヴァンセ・アジルの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「インフラテック事業」セグメントにおいて、のれんが230,996千円発生しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	1,057.63円
1株当たり当期純利益	7.07円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	6.99円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	1,966,852
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	1,966,852
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	1,859,671

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	13,158
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	13,158
期中平均株式数 (株)	1,861,676
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—
普通株式増加数 (株)	21,890
(うち新株予約権 (株))	(21,890)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。